

昭和音楽大学大学院(博士後期課程)

アドミッション・ポリシー(入学受入れの方針)

■ 博士(音楽) Doctor of Musical Arts:音楽芸術表現領域

本学は、「礼・節・技の人間教育」を建学の精神とし、各専門分野のきわめて高度な知識と教養及び卓越した技能を備え、音楽芸術文化の進展を担うことができる人材を育成することを目的としています。建学の精神と教育目的を理解し、意欲あふれる人物を受け入れます。

<求める人物像>

次の要素を備えた人物を求めます。

1. 音楽の専門分野における優れた技術や表現力と高度な知識
2. 音楽芸術全般に関する広範な知識と教養
3. 高度な研究を自立して行うための能力と意欲
4. 高度な学術研究や高等教育への強い興味と意欲

<入学後の期待>

入学時に求められる上記の資質・能力をもとに、将来、音楽芸術文化の未来を展望し、その進展を促進するとともに、高度な学術研究や高等教育を担うために必要な基盤を獲得することを期待します。

<入学者選抜方式>

入学者の選抜は、修士論文またはそれに準ずる修士研究、研究計画、専攻実技または作品審査、外国語試験、口頭試問および提出書類等を総合して判定します。

■ 博士(芸術)Doctor of Philosophy in Arts Management :音楽芸術運営領域(舞台芸術政策研究・舞台芸術マネジメント)

本学は、「礼・節・技の人間教育」を建学の精神とし、各専門分野のきわめて高度な知識と教養及び卓越した技能を備え、音楽芸術文化の進展を担うことができる人材を育成することを目的としています。建学の精神と教育目的を理解し、意欲あふれる人物を受け入れます。

<求める人物像>

次の要素を備えた人物を求めます。

1. 舞台芸術政策、舞台芸術マネジメントの分野における高度な知識と優れた実践的能力
2. 音楽芸術全般に関する広範な知識と教養
3. 高度な研究を自立して行うための能力と意欲
4. 高度な学術研究や高等教育への強い興味と意欲

<入学後の期待>

入学時に求められる上記の資質・能力をもとに、将来、音楽芸術文化の未来を展望し、その進展を促進するとともに、高度な学術研究や高等教育を担うために必要な基盤を獲得することを期待します。

<入学者選抜方式>

入学者の選抜は、修士論文またはそれに準ずる修士研究、研究計画、外国語試験、口頭試問および提出書類等を総合して判定します。

■ 博士(音楽療法)Doctor of Philosophy in Music Therapy :音楽芸術運営領域(音楽療法)

本学は、「礼・節・技の人間教育」を建学の精神とし、各専門分野のきわめて高度な知識と教養及び卓越した技能を備え、音楽芸術文化の進展を担うことができる人材を育成することを目的としています。建学の精神と教育目的を理解し、意欲あふれる人物を受け入れます。

<求める人物像>

次の要素を備えた人物を求めます。

1. 音楽療法分野における高度な知識と優れた実践的能力
2. 音楽芸術全般に関する広範な知識と教養
3. 高度な研究を自立して行うための能力と意欲
4. 高度な学術研究や高等教育への強い興味と意欲

<入学後の期待>

入学時に求められる上記の資質・能力をもとに、将来、音楽芸術文化の未来を展望し、その進展を促進するとともに、高度な学術研究や高等教育を担うために必要な基盤を獲得することを期待します。

<入学者選抜方式>

入学者の選抜は、修士論文、研究計画、外国語試験、口頭試問および提出書類等を総合して判定します。